

請願 第29号

受付 平成31年 2月19日

付託 平成31年 2月28日

宮和田小学校・藤代南中学校通学路一部改修に関わる請願
(バリアフリー取手 宮和田ときわ台団地内市道 0134 号線歩道改修)

紹介議員 石井めぐみ

・請願趣旨

ときわ台団地以北に在住の宮和田小・藤代南中の児童生徒にとって、市道 0134 号線の歩道・路肩双方が重要な通学路となっています。又、近隣住民の貴重な生活道路です。

ときわ台団地は、開発分譲から 40 年以上経過しています。市道 0134 号線以西の道上地区の高齢化率は 45%強。以東の道下地区は、50.4%。取手市高齢化率 33%を遥かに超えています。ここ数年介助者同伴の車椅子やシルバーカー・歩行器使用者が目立つようになりました。

さて、市道 0134 号線両脇の歩道部分と路肩部分の現状は如何なものでしょうか。

ときわ台団地入居開始から数年後、市道 0134 号線地下に大型排水溝が埋設されました。その後、ときわ台団地浄化槽廃止に伴う排水管切り替え工事等で数回にわたり歩道部分は掘り起こし復旧が繰り返されました。その度に敷石である平板ブロックの隙間が開いてきたようです。現状の歩道部分の凸凹はこのことが原因と推察されます。車道から歩道上を通過して民地への車両引き込み通路は、40 年以上前からの形状そのまま歩道機能を著しく低下させています。路肩には車両引き込み用の段差解消ブロックが置かれ、自転車通行等には危険な状態です。3.11 東日本大震災の影響であろう部分的な歩道の横断勾配は、合法的に歩道の自転車走行が可能な 13 歳未満の子供には危険極まりありません。シルバーカー・歩行器・杖使用の高齢者は、物理的に通行できません。

※数年前に試験的に改修された歩道（宮和田 1006-25～59 前）は傾斜ブロックを使い、歩道を凹ませることなく車両を民地へ引き込み可能な優れものです。

・請願事項

1. 宮和田ときわ台団地内市道 0134 号線歩道を平坦で快適安全な歩道に改修すること。
2. 車両に関する車道歩道間段差解消は傾斜ブロックを使用。

以上、地方自治法第 124 条の規定により請願いたします。

平成31年2月19日

請願者代表

住所 取手市宮和田 985-19

氏名 斉藤たかし

取手市議会議長 殿